

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

《 事 業 概 要 》

東日本大震災から丸12年が経過し、令和4年度は復興が進み生活基盤の整備は完了したが、令和7年度まで延長された第2期復興・創生期間において、本会における地域福祉活動の指針となる第3次地域福祉活動計画に基づき、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念として事業運営を行うとともに、令和5年度から4ヵ年における、本会の地域福祉事業の指針となる第4次地域福祉活動計画の策定を行った。

また、組織としてのガバナンスの強化と事業の透明性を図り、制度改正に沿った法人運営に取り組むとともに、健全な社会福祉法人新会計基準に沿った会計処理を行い、適正な財務管理を実施した。本会が実施する介護保険事業、障害者サービス事業における今後の安定的な経営と、本会の経営状況と課題分析や、今後に向けての事務事業の見直しを行なう方向性を精査し、人材、財政基盤などの組織体制の強化を図るため、令和4年度に予定していた第3次経営基盤強化計画の策定を1年延長することとした。

事業実施においては、新型コロナウイルス感染防止のため事業の中止等を余儀なくされたが、代替事業等で実施した事業においては、少人数化や検温等の感染症対策を徹底し、可能な限り事業や地域福祉活動の継続実施に努めた。

復興公営住宅や自立再建による新興住宅地、既存の自治会を含めた新たな地域コミュニティの構築や、地域の支え合いによる支援を継続するとともに、コロナ禍も含む新たな課題や多様なニーズへと変化もある中、それぞれの地域特性を考慮しながら、既存の自治会を含めた地域コミュニティの形成・再構築のため、本所及び各支所職員並びに地域福祉コーディネーター（CSC）が中心となって、地域の方々と協力し小地域福祉活動の普及に努め、担い手の支援を行うとともに、地域内の互助・共助活動の活性化が図られるよう努めた。

また、復興公営住宅及び防災集団移転地については、石巻市からの受託事業として、エリア主任、地域生活支援員が各地区を巡回訪問するとともに、関係機関との連携を行ない、住民の生活相談支援事業を展開した。

CSCが兼務する生活支援コーディネーター事業については、石巻市から受託の生活支援体制整備事業において、全16地区の地域における支え合いの体制構築、情報共有を図るための話し合いの場である第2層協議体の設置が完了し、引き続き推進充実に向けた取り組みを行った。

福祉学習については、小・中学校よりの依頼を受け、福祉啓発の事業を実施し、地域の中で子どもから大人までが一緒に福祉を学ぶことができるように作成した「福祉学習ガイドブック」の活用について周知を行うとともに、福祉作品コンクールを実施し、日常の生活の中で福祉について考え、優しさや豊かな心を育む機会の創出に努めた。

ボランティア育成については、市内ボランティア団体の状況を把握しながら、活動者の支援を行った。また、災害時における市民活動者育成のため、情報提供を行うとともに、令和4年3月16日深夜に発生した福島県沖を震源とする震度6弱の地震により被害を受けた市民に対し、令和4年度も継続してボランティアによる片付け等の支援を実施した。

事業計画において重点目標としている会費の増収については、既存の自治会及び新

たに形成された自治会並びに復興公営住宅の団地会を含め、本会会費に対する理解を得られるよう、コロナ禍における地域の現状を考慮しながら事業の周知啓発を行い、協力依頼に取り組んだ。

生活相談事業については、相談窓口の機能強化として、本会の第3次地域福祉活動計画に基づき、相談受付シートの見直しを行うとともに、相談技法向上と他機関との連携を目的とした事例検討や研修会を合同で開催した。また、相談内容を月次・年次でまとめ、相談の傾向や推移等の把握に努め、住民ニーズを関係機関と共有することに努めた。

福祉資金の貸付事業については、通常相談及び貸付と併せ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、失業や休業等で収入が減少した方を対象とした緊急小口資金や総合支援資金等の貸付について対応するとともに、償還に伴う事務委託にも対応した。

在宅福祉事業である介護保険事業・障害福祉サービス事業については、従事職員の新型コロナウイルス感染拡大予防を徹底し、利用者の日常生活に支障をきたさないよう事業に取り組んだ。

最後に、石巻市内に法人本部、事業所を有する17の社会福祉法人が参加し、情報交換や研修等を通じて資質の向上に努め、信頼される社会福祉法人を目指すとともに、相互に連携して地域公益事業等に取り組み、石巻市民の福祉向上、地域共生社会の実現に寄与することを目的とした石巻市社会福祉法人連絡会を、本会が発起人となり令和5年1月に設立し、その事務局を担うことになった。